

「共生型新産業創出コロキウム」募集要項 2024.07

2024年10月より東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部にて新たに開講する「共生型新産業創出コロキウム」講座の受講者を募集します。

コンセプト

すべての生物が持続的に共存できる環境の実現が喫緊の課題となる中、人々の生活・社会を支えるこれからの産業は、**環境調和的**でありながら、同時に人々の**幸福を追求**する営みとなる必要があります。

本講座では、今まさに活用が期待されている「**微細藻類**」に注目し、環境と調和し共生しながら人々の well-being を叶える「共生型新産業」の創出に資する人材を育成することを目指します。

具体的には、**俯瞰的な視野**と**実行力**を育むための分野横断・双方向型の講義と、微細藻類を活用しようとする**産業の現場からの学びと交流機会**を展開し、微細藻類による種々の生成物の活用方法や環境や社会に与える影響を検討しながら、講座で得られた知識・能力や人とのつながりを活用して、受講者自らが提案を行い企業等や社会へ発信します。

さらに、企業等の社会人と学生が共に受講する講座とすることで両者の交流をはかるとともに、多面的な視点と知的基盤を身につけた人材が、産業界の現場と研究の現場につながる**コミュニティ**として育まれる場を提供します。

講座で培われる力：

環境に与える影響を正しく評価できる

科学リテラシー

新たなビジネスとして成立させる

ビジネスモデル構想力

新たな未来像を描ける

ビジョナリー力

多様な意味での人々の

幸福・豊かさの追求力

人とつながり連携する

巻き込み力

対象

社会人

東京大学に所属する学生（学部後期課程、大学院修士・博士課程）

東京大学以外の大学等に所属する学生（学部生、大学院生）

開講期間・場所

[開講期間]

2024年10月～2026年3月

前期 | 2024年10月～2025年2月

後期 | 2025年4月～2026年3月

- 初回講義は、**2024年10月10日（木）16:50～18:35（5限）**に行います
- 原則として、前期・後期とも継続して受講いただける方の参加を想定しています
- 学事暦上の年度・学期をまたぐ講座のため、後期開始前に必要となる手続きがあります（詳細は別途ご案内します）

[開講時間]

講義については「**木曜 5限（16:50–18:35）**」を基本としますが、実習やワークショップ、フィールドワークについてはこれに限りません。

[開講場所]

東京大学 弥生キャンパスを基本に、一部講義およびフィールドワーク等については学外でも実施予定です。

講座の構成

[I] 講義

共生型新産業を考える上で必要となる俯瞰的な視野と確かな洞察力を得るための、産学界の多彩な講師陣による講義。

part_a | 社会と環境／微細藻類のバイオロジー／サーキュラー・バイオエコノミー／ビジネス／人の健康と幸福／デザイン・アート をキーワードとした講師陣による講義と対話

part_b | 微細藻類の活用実際に取り組む、複数業界の企業等の講師による産業の現場からのインプット

[II] ハンズオン実習*

微細藻類の培養に必要な条件や、有用化合物の抽出工程・分析方法について体験を通じて学ぶため、微細藻類の培養と観察、増殖速度の検証や化合物の抽出・分析操作などの実習を大学の実験室にて行う。

[III] ワークショップ

微細藻類を活用した新たな産業化のアイデア創発や提案に向けたワークショップを実施。グループワークの他、各受講者からの提案のプレゼンテーションを行う。

[IV] フィールドワーク *

国内および国外における微細藻類活用事業拠点を実際に訪問して体験し、交流機会を通じてネットワーク形成につなげる。

訪問先（予定）

前期-国内：「IMAT 一般社団法人日本微細藻類技術協会」（広島県）および

「一般社団法人さが藻類バイオマス協議会」（佐賀県）

後期-国外：「CHITOSE Carbon Capture Central (C4)」（マレーシア）

*については、できるだけ参加を推奨するが任意

参加費用

〈すべての受講者の方〉

- 本講座参加のためにかかる交通費は、フィールドワークを含め原則として自己負担となります。

〈本学外からの受講者の方〉

- ハンズオン実習やフィールドワークの参加にあたり、各自にて保険加入を推奨します。
- 後期の受講にあたり本学の制度を利用して単位や履修証明書等を取得する場合には、本学所定の諸費用が必要となります。（本件の詳細は 2024 年 12 月に案内予定です）

講座終了時の認定書の発行について

前期・後期を通じて本講座を受講し、所定回数以上の出席と提案の提出・プレゼンテーション等の条件を満たした受講者には、本講座を完遂したことを示す認定書を発行します。

履修登録と単位取得について

本講座は東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部において正課科目として開講される「共生型新産業創出コロキウム」によって構成されています。

〈東京大学に所属する学生の方〉

2024 年度 A セメスター・W ターム開講科目「共生型新産業創出コロキウム」、2025 年度 S セメスター開講科目「共生型新産業創出コロキウム 発展編」（仮）に履修登録することにより、担当教員による評価に基づき、各 1 単位（合計 2 単位）を取得することができます。

（科目区分：農学展開科目／研究科共通科目 他部局からも履修可）

〈本学外からの受講者の方〉

前期・後期を継続して受講するにあたり、2025 年度 S セメスター開講科目「共生型新産業創出コロキウム 発展編」（仮）に所定の本学制度を用いて出願し認められると、本学の公印の入った聴講証明書や成績証明書が発行されます。

（*科目等履修生として認められると1単位を取得することができます。学内調整中のため、詳細は2024年中にご案内予定です。）

応募・参加規約

下記の URL より「応募・参加規約」をご確認の上、同意のもとご応募ください。

応募・参加規約 |

https://drive.google.com/file/d/1kQjaPNvirsYwmeJL70wWKGctGGjFIBf_/view?usp=sharing

応募について

応募方法

該当する下記の申請フォームより期日までにご応募ください。

【応募締切】 2024 年 9 月 10 日（火）

<学内者向け 応募フォーム>

東京大学 ECCS クラウドメールの Google アカウントからアクセスする必要があります

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc7kTKAP0sVB9BVdhSXwOp60UExDtikk8sDZidazJcyE8ntfQ/viewform?usp=sf_link

主な回答項目

- 応募者情報（氏名・所属・学年など）
- 応募動機
- ご自身の研究分野・関心等との関連性と発展性

<学外者向け 応募フォーム>

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSenG2xwWktYmHuH5WtdZcCjB2rxAWbA867RKR_c3yN0KcEySw/viewform?usp=sf_link

主な回答項目

- 応募者情報（氏名・所属・学歴・職歴など）
- 所属機関への確認状況
- 応募動機
- ご自身の業務・関心等との関連性と発展性

応募要件

- 東京大学の所属学生のうち、学部後期課程（3・4年生）および大学院修士課程・博士課程の学生、
または、他大学等の学部生・大学院学生、
または、以下の〈社会人の方の応募要件〉に記載する [ア] - [オ] いずれかの要件をみたす方
- 東京大学 弥生キャンパスで行われる講義に対面で出席できる方
- 前期・後期を通じて受講できる見込みの方
- 微細藻類を基点として、環境調和や共生を軸に新たな産業を考え、興し、率いていくことに対して確かなモチベーションを持つ方

〈社会人の方の応募要件〉

[ア] 日本の大学を卒業した者 *¹

[イ] 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者 *²

[ウ] 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 *²

[エ] 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者 *³

[オ] 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者

*¹ 上記 [ア] の「日本の大学」とは、学校教育法第 83 条の定める日本国内の大学を指す。

*² 上記 [イ] [ウ] には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

*³ 上記 [エ] に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者（修了者）等を示す。

- ・ 文部科学大臣の指定する外国学校日本校
- ・ 文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）
- ・ 旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

選考方法

書類審査

募集定員

25 名程度

選考結果の通知

応募フォームにて回答いただいたメールアドレス宛に、2024 年 9 月 19 日（木）にメールにて通知予定

注意事項

- 応募フォームの送信後に内容を変更することは認められません。
- 選考過程や結果に関して、電話等による問い合わせには応じられません。
- 本講座は、原則として全編が日本語で行われます。

開講スケジュール（予定）

※〈最新スケジュール〉は以下のリンクからご確認ください。随時更新します。

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/17VHJqjgrpQys86NClNUEuVGhO47zldetJt6UbFv98/edit?usp=sharing>

前期 | 2024年10月～2025年2月

日付		時間	区分		講師・内容	キーワード
2024.10.10	木	16:50-18:35	-	オリエンテーション	プログラムの説明・ 受講者セルフプレゼンテーション	-
2024.10.17	木	16:50-18:35	lb	講義	星野 孝仁 ／ちとせグループ 執行役員 Chief Bio Engineer	微細藻類の 大規模生産
2024.10.24	木	16:50-18:35	lb	講義	笠原 堅 ／ちとせグループ執行役員 Chief Innovation Officer	藻類バイオマスの 用途開発
2024.10.31	木	16:50-18:35	la	講義	五十嵐 圭日子 ／東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	生物素材・ バイオエコノミー
2024.11.07	木	16:50-18:35	la	講義	田辺 雄彦 ／国立環境研究所 生物多様性領域 主幹研究員	藻類の多様性・ 生物資源保全
2024.11.28	木	16:50-18:35	la	講義	岡田 茂 ／東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	微細緑藻・ バイオ燃料
2024.12.05	木	16:50-18:35	la	講義	TBA	文化とデザイン (予定)
2024.12 第2週	-		IV	フィールドワーク*	一般社団法人日本微細藻類技術協会 (IMAT)	-
2024.12. 16-18	月-水	未定	II	ハンズオン 実習*	岡田 茂 ／東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	-
2024.12.19	木	16:50-18:35	la	講義	永野 友子 ／富士通株式会社 Global Solution Business, Group Strategic Planning Unit Manager	SX・ サステナブル経営
2024.12.26	木	16:50-18:35	la	講義	TBA	環境法・国際制度
2025.01	-		IV	フィールド ワーク*	一般社団法人さが藻類バイオマス協議会	-
2025. 01-02	-	16:50-18:35	III	ワーク ショップ	西村 勇哉 ／NPO 法人ミラツク 代表理事・ 株式会社エッセンス 代表取締役	-
2025. 01-02	木	16:50-18:35	lb	講義	福井 裕美子 ／武蔵塗料ホールディングス株式会社 代表取締役社長	バイオマス ペイントの普及
2025. 01-02	木	16:50-18:35	lb	講義	小口 希 ／株式会社資生堂 ブランド価値開発研究所 開発推進センター原料開発室 室長	化粧品原料の開発

*については、できるだけ参加を推奨するが任意

表中の区分表記は以下の通り：

- la 講義 part_a 共生型新産業に必要な幅広い視座と洞察力を育む
- lb 講義 part_b 微細藻類の活用に取り組む企業の現場からのインプット
- II ハンズオン実習
- III ワークショップ
- IV フィールドワーク

後期 | 2025年4月～2026年3月

講師（予定）：

- 方 健太郎 Exa Innovation Studio, Inc. Co-Founder
- 柳田 庸子 マーケティング・コンサルタント / アート・レンダリング・ディレクター
- 米倉 誠一郎 一橋大学 名誉教授 / デジタルハリウッド大学大学院 特命教授
- 福永 真弓 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授

その他、サステナブルデザインの実践者や、微細藻類の活用に関わる金融業、製造業等の複数業種の企業からの講師等を予定

お問い合わせ

東京大学 大学院農学生命科学研究科・農学部 One Earth Guardians 育成機構

One Earth Guardians 育成プログラム事務局

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

Email: office@one-earth-g.a.u-tokyo.ac.jp

本講座は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託を受けて実施するものです。

以上